

2026年度

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

議 案 書

日 時 2026年 5月 23日（土曜日） 14時 00分

会 場 WEB開催（キオクシアアイーナより配信）

一般社団法人
岩手県臨床衛生検査技師会

2026年度定時総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5 総会成立の確認
- 6 報告事項
- 7 議事
 - 承認第1号 2025年度事業について
 - 承認第2号 2025年度決算について
 - 承認第3号 2025年度監査報告について
 - 第1号議案 2026年度事業計画(案)について
 - 第2号議案 2026年度予算(案)について
 - 第3号議案 2026・27年度理事・監事の選任(案)について
 - 第4号議案 諸規定の変更について
- 8 総会役員解任
- 9 議長解任
- 10 その他
- 11 閉会の辞

報告事項

- 日臨技では令和 8・9 年度に新たに長沢光章氏が会長候補者となり、総会で承認され会長となる予定です。
- 岩臨技では従来日臨技と役員任期に相違がありましたので、令和 7 年の役員は任期中ですが一度全員辞任し、新たに令和 8・9 年度の役員を令和 7 年 2 月 7 日に承認された役員等選任規程に従い選出致しました。任じられた新たな役員等については第 3 号議案となります。
- 令和 8 年 2 月 7 日の臨時総会で承認された定款の変更と本総会で承認予定の役員の変更に伴い、今年度一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会は法務局への登記が必要となり、以降は 2 年ごとの役員改選となります。
- 令和 10 年に岩手県担当で予定されていた日臨技北日本支部医学検査学会は青森県が令和 10 年と変更されましたので、本県担当は令和 11 年の予定です。本年度は秋田県で 11 月 14, 15 日となります。
- 令和 8 年 5 月 7 日の理事会で以下の諸規程が審議された事を報告致します。これに伴い、以下の諸規程は第 4 号議案となります。
 - 会計事務取扱規定（改正）
 - 会費減免規定（制定）
 - 会員および会費に関する規程（制定）
 - 学術部運営規程（制定）
 - 学術部支出規程・別紙 学術部支出規定（制定）

以上

承認第 1 号

令和 7 年度事業

一般経過報告

令和 7 年度に予定していた事業計画のうち、一部を除き予定通り終了しました。

【事業計画達成済】

- 事務局移転
岩手医科大学附属内丸メディカルセンターから盛岡市紺屋町 5-14 ギボーシプラザ 402 へ
- 地区再編の完了 5 地区制から 2 地区制へ
- 学術部門主催研修会 計 17 回
- 研修会参加者への生涯教育登録
- タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 6 月および 11 月
- 安比リレーマラソン 9 月 14 日
- 検査と健康展 11 月 2 日
- 岩臨技精度管理調査及び報告会
- 会報発行事業 計 5 回
- ホームページのセキュリティ強化 (SSL)
- 岩手県医学検査学会 (南部地区担当 実行委員長：安藤隆子、事務局長：工藤浩揮)
- 定款および諸規程の見直し
定款、組織運営規程 (別紙 組織図)、役員等選任規程、役員等の報酬及び費用に関する規程、会員及び会費に関する規程、会計事務取扱規程、会費減免規程、学術部運営規程、学術部支出規定 (別紙 学術部支出一覧)。
- 役員等選任規程に沿った新規役員の選出

【事業計画未達成】

- 災害対策について
9 月 8 日および 9 日に行われた内閣府主催の災害訓練に日臨技と共に参加した。
岩臨技の災害対策についてのマニュアルはほぼ完成しているが、理事会への提出、承認後に県との協定締結については未達成。
- 定款および諸規程の見直し
定款、組織運営規程 (別紙 組織図)、役員等選任規程、役員等の報酬及び費用に関する規程については 2 月 7 日の臨時総会で承認された。会員及び会費に関する規程、会計事務取扱規程、会費減免規程、学術部運営規程、学術部支出規程については 5 月 7 日理事会で審議・承認されましたので、本総会で第 4 号議案とする。
その他必要な規定につきましては令和 8 年度中に校正、理事会審議となる予定。

【その他】

- 令和 7 年度岩手県・盛岡市合同衛生検査所立ち入り検査実施
- 令和 7 年度日臨技北日本支部連絡会議
- 令和 8 年度岩手県医師会・歯科医師会合同新年交賀会
- 令和 8 年度日臨技新年賀詞交換会
- Peatix によるオンライン決済の導入

各部門からの事業報告は以下に記載致します。

事業報告

<総務部> 総務部長：佐々木 まゆみ

1. 組織体制および連絡網の整備について
岩臨技ホームページのみならずメールも活用し、会員の皆様にとって有益な研修会や会議等の情報発信を行ってまいりました。また、連絡ツールとして導入しているサイボウズにつきましては、理事、地区会長、部門長等をメンバーとして運用し、迅速かつ円滑な情報共有に活用してまいりました。
2. ホームページ等の運用について
会員の皆様が安心・安全に閲覧でき、かつ視認性に優れたホームページとなるよう、令和7年8月1日よりホームページのSSL化を開始いたしました。本年度も引き続き、岩臨技ホームページを活用し、会員の皆様にとって有益な研修会や会議等の情報発信を行ってまいりました。
3. 会員の親睦活動について
立案しておりました安比リレーマラソンや検査と健康展も、会員の皆様のご協力のもと、盛況のうちに終了いたしました。感染症の状況を注視しつつ、安全を最優先に配慮したうえで、企画通りの親睦行事を実施いたしました。
4. 事務局の移転について
岩臨技事務局を現在の岩手医科大学附属内丸メディカルセンター中央臨床検査部内から移転し、令和7年7月に移転を完了いたしました。
5. 地区再編計画について
5地区制に関する見直しについては、これまで理事会において繰り返し協議を重ねて、会員の皆様へ具体的な再編案を提示するとともに、組織体制や学術部門の再構築、またそれに伴う定款や諸規程の変更案についても提案いたしました。その結果、令和8年2月7日に開催された臨時総会において可決されております。
6. 災害対策について
今年度は、9月8日および9日に行われた内閣府主催の災害訓練に参加し、青森県が主体となる訓練に当技師会も参画いたしました。

<学術部> 学術部長：小野寺 奈緒

■ 岩手県医学検査学会

地区技師会が担当する最後の学会となりました。公開講演を開催し、地域の方々にも参加していただくことができました。また、学術部からも実行委員に加わり、学会活動をバックアップすることができました。

■ 精度管理調査

血液検査の試料が1濃度で行われた以外は、例年通りの実施となりました。報告会はLive配信にて実施いたしました。一部進行に不手際がありご迷惑をおかけしましたが、各部門長によるわかりやすい解説により、会員に役立つ情報を提供することができました。また、アーカイブ配信を導入し、開催後一週間の配信を行いました。アーカイブ配信での参加者数は多くありませんでしたが、一定の需要があることを確認することができました。

■ 研修会・生涯教育研修

昨年度に引き続き、マニュアル等を整備し、学術部全体で年度計画を立てて活動してまいりました。研修会の開催案内はホームページへの掲載および、会員への一斉メール配信を利用し、研修会情報の周知を行いました。今年度は、現地開催やハイブリッド開催を含む、全17回の研修会を開催いたしました。全体的な開催回数は例年より少なかったものの、実技研修も3回開催することができました。また、オンライン決済の導入により、12月からイベントプラットフォームPeatixの試験運用を開始し、大きな問題なく運用することができました。

1、第28回岩手県医学検査学会

メインテーマ：人と向き合う！時代と向き合う！そして成長へ ～ 新時代の検査を考える ～
会 期：令和7年11月30日（日）

開催地 : 一般財団法人 奥州市文化振興財団 前沢ふれあいセンター
 学会長 : 高橋 一博 (岩手県臨床衛生検査技師会 会長)
 実行委員長 : 安藤 隆子 (岩手県立千厩病院)
 学会事務局 : 工藤 浩揮 (岩手県立磐井病院)
 ランチョンセミナー : AI/DX が拓く臨床検査の未来と臨床検査技師の新たな役割
 講師 小松 弘幸
 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 ビジネスイノベーション本部
 教育講演 : がんゲノム検査がもたらす個別医療の新時代
 講師 岩谷 岳
 岩手医科大学 臨床腫瘍学講座 特任教授
 公開講演 : 人生の幸せとは? ～生(逝)き方を考える～
 講師 川村 秀司
 岩手県立江刺病院 院長
 一般演題 : 8題
 担当地区 : 南部地区技師会
 参加者 : 78名 (会員 75名、新人 3名) + 賛助会員 26名 + 講師 2名

2、令和7年度(第31回)岩臨技精度管理調査

実施期間 : 令和7年12月2日～12日
 回答方法 : 日臨技精度管理システム (JAMTQC)
 調査項目 :

- 1) 臨床化学検査 : 酵素・脂質項目 28項目 (試料 1、2)
 HbA1c (試料 5、6)
- 2) 免疫血清検査 : HCV抗体、HBs抗原の定性・定量 (試料 7、8)
- 3) 血液検査 : 血算 6項目 (試料 9)
 フォトサーベイ (末梢血細胞判定 10題、骨髄細胞判定 4題)、
 アンケート調査 (凝固検査検体取り扱いに関する)
- 4) 一般検査 : フォトサーベイ (12題)
 尿定性検査 (尿糖・尿蛋白・尿潜血)
- 5) 輸血検査 : ABOおよびRhD血液型検査 (試料 12、13)、
 不規則抗体スクリーニング検査 (試料 12、13)、
 不規則抗体同定検査 (試料 12、13)、
 フォトサーベイ (不規則抗体同定検査 3題)
- 6) 微生物検査 : フォトサーベイ (2題)
 同定検査 (試料 1、2)、薬剤感受性検査 (試料 2)
- 7) 病理検査 : EVG染色
- 8) 生理機能検査 : 心電図検査 (5題)
 心臓超音波検査 (2題)
 腹部超音波検査 (2題)、
 呼吸機能検査 (1題)

参加施設 :

- 1) 臨床化学検査 酵素・脂質項目 42施設、HbA1c 38施設
- 2) 免疫血清検査 32施設
- 3) 血液検査 血算部門 44施設、形態部門 42施設
- 4) 一般検査 43施設
- 5) 輸血検査 ABOおよびRhD血液型検査 33施設、
 不規則抗体スクリーニング検査 28施設、
 不規則抗体同定検査 9施設、
 フォトサーベイ 29施設
- 6) 微生物検査 フォトサーベイ 18施設
 同定検査 13施設、

薬剤感受性検査 12 施設

7) 病理検査 8 施設

8) 生理機能検査 心電図検査 35 施設、心臓超音波検査 25 施設、腹部超音波検査 25 施設、呼吸機能検査 31 施設

報 告 会 : 令和 8 年 2 月 7 日 (土) Web 開催 (配信: 岩手県立中央病院 会議室)

※ アーカイブ配信 令和 8 年 2 月 10 日～2 月 16 日

精度管理調査結果報告

- ① 臨床化学検査 (部門長 渡部 敦裕)
- ② 免疫血清検査 (部門長 渡部 敦裕)
- ③ 血液検査 (部門長 染谷 俊裕)
- ④ 一般検査 (部門長 五内川 有希)
- ⑤ 輸血検査 (部門長 藤原 教徳)
- ⑥ 微生物検査 (部門長 遠藤 謙太郎)
- ⑦ 病理検査 (部門長 肥田野靖史)
- ⑧ 生理機能検査 (部門長 千葉 あゆみ)

実施委員長: 塩越 真由美 (岩手県立中央病院)

参加: Live 76 名 + 賛助会員 2 名

アーカイブ 12 名 (生涯教育点数付与対象 6 名)

3、学術部門主催研修会

計 17 回開催 (内、助成金申請 14 研修会)

※ 開催形式: Web 開催 13 回、現地開催 3 回 (内、実技あり 2 回)、ハイブリッド開催 1 回 (実技あり)

※ 参加者: 非会員にはメーカー講師、他職種を含む

1) 令和 7 年度 第 1 回 岩臨技学術部研修会

テーマ: 脳死判定検査に備える!

日 時: 令和 7 年 6 月 25 日 (水) 18:00～19:00

会 場: Web 開催 (Zoom 使用)

内 容: 講演 I 「法的脳死判定マニュアルの改正について」

講師 森田 里香 先生 (公益財団法人いわて愛の健康づくり財団)

講演 II 「脳死判定における脳波検査の実際～当院での経験を踏まえて～」

講師 高橋 広大 技師 (岩手医科大学附属病院)

担 当: 生理機能部門 (千葉あゆみ)

参加者: 63 名 (県内 35 名、県外 27 名、非会員 1 名)

2) 令和 7 年度 第 2 回 岩臨技学術部研修会

テーマ: 新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part 1

日 時: 令和 7 年 7 月 9 日 (水) 17:30～18:30

会 場: Web 開催 (Zoom 使用)

内 容: 講演 I 「岩臨技から新社会人の皆様へ

一緒に楽しく安心して技師生活を続ける場を提供いたします」

講師 高橋 一博 (岩手県立磐井病院、岩臨技会長)

講演 II 生化学・免疫検査「精度管理の基礎」

講師 渡部 敦裕 (岩手県立江刺病院)

担 当: 総合管理部門 (小野寺奈緒)、生物化学分析部門 (渡部敦裕)

参加者: 38 名 (県内 34 名、非会員 4 名)

3) 令和 7 年度 第 3 回 岩臨技学術部研修会

テーマ: 新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part 2

日 時: 令和 7 年 7 月 16 日 (水) 17:30～18:30

会 場: Web 開催 (Zoom 使用)

内 容: 講演 I 血液・凝固検査「血液検査の基礎」

- 講師 山屋 理樹（岩手県立中部病院）
 講演Ⅱ 一般検査「尿検査の基礎について」
 講師 五内川 有希（岩手医科大学附属病院）
 担 当：総合管理部門（小野寺奈緒）、血液検査部門（染谷俊裕）、
 一般検査部門（五内川有希）
 参加者：44名（県内39名、非会員5名）
- 4) 令和7年度 第4回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part 3
 日 時：令和7年7月23日（水）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演Ⅰ 心電図検査「心電図検査の基礎」
 講師 赤沼 尚子（岩手県立宮古病院）
 講演Ⅱ 肺機能検査「肺機能検査の基礎」
 講師 佐藤 光（岩手県立胆沢病院）
 講演Ⅲ 病理検査「病理検体の取り扱い方」
 講師 大内 美月（岩手医科大学附属病院）
 担 当：総合管理部門（小野寺奈緒）、生理機能部門（千葉あゆみ）、
 病理・細胞検査部門（肥田野靖史）
 参加者：29名（県内24名、非会員5名）
- 5) 令和7年度 第5回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part4
 日 時：令和7年7月30日（水）17:30～18:30
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演Ⅰ 輸血検査「血液型検査の基礎と要点」
 講師 佐々木 哲也（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ 細菌検査「グラム染色と喀痰から分離される主要な菌について」
 講師 大石 哲（岩手県立大船渡病院）
 担 当：総合管理部門（小野寺奈緒）、移植検査部門（藤原教徳）、
 感染制御部門（遠藤謙太郎）
 参加者：39名（県内36名、非会員3名）
- 6) 令和7年度 第6回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：PAS反応を見つめ直して、明日からガッチリ！！
 日 時：令和7年8月30日（土）14:00～16:30
 会 場：盛岡赤十字病院 2階 会議室
 内 容：講演Ⅰ「二級臨床検査士（病理）を受験して」
 講師 大内 美月 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ「唾液腺細胞診国際報告様式 ミラノシステム について」
 講師 高橋 静子 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅲ「令和6年度岩臨技精度管理調査報告（病理部門）」
 講師 肥田野 靖史 技師（岩手医科大学附属病院）
 担 当：病理・細胞検査部門（肥田野靖史）
 参加者：21名（県内20名、県外1名）
- 7) 令和7年度 第7回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：生化学検査業務において遭遇する可能性のあるピットフォール
 日 時：令和7年8月27日（水）17:30～18:20
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演 「検査業務において遭遇する可能性のあるピットフォール
 ～若手検査技師と夜間当直者のための生化学項目を中心に～」
 講師 須長 宏行（積水メディカル株式会社）
 担 当：生物化学分析部門（渡部敦裕）
 参加者：25名（県内20名、県外1名）

- 8) 令和7年度 第8回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：抗菌薬適正使用支援（Antimicrobial stewardship; AS）について学ぶ。
 ～検査技師にも知っておいてほしいこと～
 日 時：令和7年8月30日（土）14:00～16:00
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演Ⅰ「薬剤師からみる培養検査の評価・臨床への適用」
 講師 大森 紀和 先生（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ「看護師視点の抗菌薬適正使用支援」
 講師 菊地 努 先生（岩手県立中央病院）
 担 当：感染制御部門（遠藤謙太郎）
 参加者：34名（県内32名、非会員2名）
- 9) 令和7年度 第9回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：岩手県内における感染症サーベイランス・病原体検査について学ぶ
 日 時：令和7年9月24日（水）18:00～19:00
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演 「岩手県環境保健研究センターの役割および病原体検査機能について」
 講師 山中 拓哉 先生（岩手県環境保健研究センター）
 担 当：感染制御部門（遠藤謙太郎）、遺伝子検査部門（三浦采香）
 参加者：31名（県内30名、非会員1名）
- 10) 令和7年度 第10回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：尿沈渣を見究めるー 赤血球形態・上皮細胞編 ー
 日 時：令和7年11月2日（日）12:30～16:30
 会 場：岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟4階 4-B 実習室（西402）
 内 容：講演Ⅰ「赤血球形態鑑別のポイント」
 講師 五内川 有希 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ「上皮細胞鑑別のポイント」
 講師 古川 楓 技師（仙台市立病院）
 実習「尿沈渣鏡検 実習」
 実技講師 白井 竜二 技師（仙台市立病院）
 奥 明日香 技師（東北医科薬科大学病院）
 畠山 和枝 技師（岩手医科大学附属病院）
 担 当：一般検査部門（五内川有希）
 参加者：23名（県内14名、県外9名）
- 11) 令和7年度 第11回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：血液型検査の手技を再確認
 日 時：令和7年10月18日（土）14:00～17:00
 会 場：岩手県立中央病院 第1会議室
 内 容：講演・実習「血液型検査について」
 講師 藤原 教徳 技師（岩手県立磐井病院）
 実技講師 千葉由紀 技師（岩手県立中央病院）
 小田原聖 技師（岩手県立中央病院）
 上遠野 智 技師（盛岡赤十字病院）
 担 当：移植検査部門（藤原教徳）
 参加者：18名（県内18名）
- 12) 令和7年度 第12回 岩臨技学術部研修会
 テーマ：腸管感染症検査について学ぶ
 日 時：令和7年11月22日（土）14:00～15:40
 会 場：Web 開催（Zoom 使用）
 内 容：講演Ⅰ「CD トキシン検査法と県内における検査状況について」
 講師 中嶋 理子 技師（岩手医科大学附属病院）
 講演Ⅱ「*Escherichia albertii* ってどんな菌？」

- 講師 藤岡 美幸 先生 (国際医療福祉大学)
 担当: 感染制御部門 (遠藤謙太郎)
 参加者: 23 名 (県内 23 名)
- 13) 令和 7 年度 第 13 回 岩臨技学術部研修会
 テーマ: 交差適合試験について再確認
 日 時: 令和 8 年 1 月 15 日 (木) 18:00~19:00
 会 場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内 容: 講演 I 「交差適合試験について」
 講師 藤原 教徳 技師 (岩手県立磐井病院)
 講演 II 「コンピュータークロスマッチについて」
 講師 雫石 宏美 技師 (八戸赤十字病院)
 担当: 移植検査部門 (藤原教徳)
 参加者: 70 名 (県内 26 名、県外 44 名)
- 14) 令和 7 年度 第 14 回 岩臨技学術部研修会
 テーマ: 性感染症診断について
 日 時: 令和 7 年 12 月 17 日 (水) 17:30~18:30
 会 場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内 容: 講演 「性感染症診断の最前線: 生化学免疫検査と遺伝子検査の融合」
 講師 川口 宗宜 氏 (ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)
 岩長 亮伸 氏 (ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)
 担当: 生物化学分析部門 (渡部敦裕)、遺伝子検査部門 (三浦采香)
 参加者: 33 名 (県内 31 名、非会員 2 名)
- 15) 令和 7 年度 第 15 回 岩臨技学術部研修会
 テーマ: 初心者からベテランまで、みんなで頸動脈エコーレベルアップしよう!
 日 時: 令和 8 年 1 月 17 日 (土) 13:30~16:40
 会 場: キオクシア アイーナ (いわて県民情報交流センター) 研修室 803
 Web 配信 (zoom 使用)
 内 容: 講演・質問コーナー
 「いまさら聞けない頸動脈エコー検査時のポイント~医師に結果をどう伝えるか」
 講師 板橋 亮 教授 (岩手医科大学)
 ハンズオン「頸動脈エコー」
 講師 板橋 亮 教授 (岩手医科大学)
 土井尻 遼介 先生 (岩手県立中央病院)
 黒川 紗都 技師 (岩手医科大学附属病院)
 担当: 生理機能部門 (千葉あゆみ)
 後 援: 一般社団法人 岩手県診療放射線技師会
 参加者: 61 名 (県内 32 名、県外 21 名、非会員 8 名)
- 16) 令和 7 年度 第 16 回 岩臨技学術部研修会
 テーマ: 髄液検査を学ぶ
 日 時: 令和 8 年 1 月 30 日 (金) 18:00~18:40
 会 場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内 容: 講演 「髄液検査の基礎を学ぶ」
 講師 畠山 和枝 技師 (岩手医科大学附属病院)
 担当: 一般検査部門 (五内川有希)
 参加者: 24 名 (県内 22 名、県外 2 名)
- 17) 令和 7 年度 第 17 回 岩臨技学術部研修会
 テーマ: 末梢血液像を学ぶ
 日 時: 令和 8 年 2 月 17 日 (火) 18:00~19:00
 会 場: Web 開催 (Zoom 使用)
 内 容: 講演 「末梢血液像の見方」
 講師 大井 惇矢 技師 (八戸市立市民病院)

担 当：血液検査部門（染谷俊裕）
参加者：37 名（県内 35 名、県外 2 名）

4、北日本支部部門研修会（岩手県担当分）：なし

5、タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

岩手県 006

日 時：令和 7 年 6 月 22 日（日）
会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）
実務責任者：千葉 寛（盛岡市立病院）
参 加 者：59 名

岩手県 007

日 時：令和 7 年 11 月 23 日（日）
会 場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）
実務責任者：千葉 寛（盛岡市立病院）
参 加 者：57 名

6、生涯教育研修

生涯教育サイクルは最長 5 年間、基礎教科と専門教科の合計が 200 点以上で修了証書が発行される。

【基礎教科（60 点以上）＋専門教科（140 点以上）＝200 点以上】

表 1 生涯教育活動一覧

	開催日時	行事名	開催形態	分野	参加者数	生涯教育 点数		推進 事業
1	2025/05/24 14:00	（一社）岩手県臨床衛生検査技師会 2025 年度定時総会	WEB	総会	54	基礎	30	
2	2025/06/25 18:00	令和 7 年度第 1 回岩臨技学術部研修会 「脳死判定検査に備える！」	WEB	生理	62	専門	20	採用 1
3	2025/06/27 18:30	令和 7 年度 盛岡地区技師会定期総会	WEB	総会	22	基礎	30	
4	2025/07/09 17:30	令和 7 年度第 2 回岩臨技学術部研修会 「新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part1」	WEB	教育	34	基礎	20	採用 2
5	2025/07/16 17:30	令和 7 年度第 3 回岩臨技学術部研修会 「新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part2」	WEB	教育	39	専門	20	採用 3
6	2025/07/23 17:30	令和 7 年度第 4 回岩臨技学術部研修会 「新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part3」	WEB	教育	24	専門	20	採用 4
7	2025/07/30 17:30	令和 7 年度第 5 回岩臨技学術部研修会 「新人向け研修会 検査の基礎を学ぶ Part4」	WEB	教育	36	専門	20	採用 5
8	2025/08/27 17:30	令和 7 年度第 7 回岩臨技学術部研修会 「生化学検査業務において遭遇する可能性のあるピットフォール」	WEB	臨床化学	23	専門	20	

9	2025/08/30 14:00	令和 7 年度第 6 回岩臨技学術部研修会 「PAS 反応を見つめ直して、明日からガ ッチリ！！」	現地	病理	21	基礎	20	採用 6
10	2025/08/30 14:00	令和 7 年度第 8 回岩臨技学術部研修会 「抗菌薬適正使用支援（Antimicrobial stewardship; AS）について学ぶ。 ～検査技師にも知っておいてほしいこと ～」	WEB	微生物	32	専門	20	採用 7
11	2025/09/24 18:00	令和 7 年度第 9 回岩臨技学術部研修会 「岩手県内における感染症サーベイラン ス・病原体検査について学ぶ」	WEB	微生物	30	専門	20	採用 8
12	2025/10/18 14:00	令和 7 年度第 11 回岩臨技学術部研修会 「血液型検査の手技を再確認」	現地	輸血	18	専門	20	
13	2025/11/02 12:30	令和 7 年度第 10 回岩臨技学術部研修会 「尿沈渣を見究めるー 赤血球形態・上 皮細胞編 ー」	現地	一般	23	専門	20	採用 9
14	2025/11/22 14:00	令和 7 年度第 12 回岩臨技学術部研修会 「腸管感染症検査について学ぶ」	WEB	微生物	23	専門	20	採用 10
15	2025/11/30	第 28 回岩手県医学検査学会	現地	学会	78	専門	20	
16	2025/12/17 17:30	令和 7 年度第 14 回岩臨技学術部研修会 「性感染症診断について」	WEB	遺伝子 染色体	31	専門	20	
17	2026/01/15 18:00	令和 7 年度第 13 回岩臨技学術部研修会 「交差適合試験について再確認」	WEB	輸血	70	専門	20	採用 11
18	2026/01/17 13:30	令和 7 年度第 15 回岩臨技学術部研修会 「初心者からベテランまで、みんなで頸 動脈エコーレベルアップしよう！」	現地 + WEB	生理	53	専門	20	採用 12
19	2026/01/30 18:00	令和 7 年度第 16 回岩臨技学術部研修会 「髄液検査を学ぶ」	WEB	一般	24	専門	20	採用 13
20	2026/02/07 13:00	令和 7 年度（第 31 回）岩臨技精度管理 調査報告会（同日開催：臨時総会）	Live + アーカイブ	管理運営	82	基礎	20	採用 14
21	2026/02/17 18:00	令和 7 年度第 17 回岩臨技学術部研修会 「末梢血液像を学ぶ」	WEB	血液	37	専門	20	採用 15

表 2 年度別月別開催数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (回)
2020	0	2	2	0	0	1	0	3	1	1	0	2	12
2021	0	2	0	0	2	0	2	4	1	0	4	1	16
2022	0	2	6	1	0	2	3	2	1	3	1	1	22
2023	0	2	2	1	2	1	2	4	3	2	2	0	21

2024	1	2	2	6	3	5	4	5	4	3	4	0	39
2025	0	1	2	4	3	1	1	3	1	3	2	0	21

表 3 年度別教科点数別開催数

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
基礎教科 10 点	0	0	0	0	0	0
基礎教科 20 点	2	2	3	5	5	3
基礎教科 30 点	4	1	2	2	2	2
専門教科 10 点	0	0	0	0	0	0
専門教科 20 点	6	12	17	14	32	16
専門教科 30 点	0	1	0	0	0	0
合計(回)	12	16	22	21	39	21

表 4 年度別教科別点数

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
基礎教科	160	70	120	160	160	120
専門教科	120	270	340	280	640	320
合計点数	280	340	460	440	800	440

<公益事業部> 公益事業部長：川村 将史

公益事業活動として、「検査と健康展 in やはぱーく」を開催いたしました。全 6 ブースを設置し、来場者が直接「見て・触れて・学ぶ」ことができる体験型ブースを中心に構成しました。約 200 名の来場者を迎える盛況のうちに終了いたしました。今年度は、学生に対する臨床検査技師の普及事業を検査と健康展内で開催することとなり、専門学校教員による中・高生向け個別相談、学費や資格取得までのフローの解説を行いました。体験を通じて子どもたちから「みかんの形がわかって面白かった」「（顕微鏡で）自分で見えて嬉しい」といった声が上がリ、検査技術への興味を惹きつけることができました。中・高生からは「医療職への興味が深まった」「学費等の具体的な情報が参考になった」との感想を得られ、将来の担い手育成に繋がる機会となりました。

本イベントは、多忙な業務の合間を縫って参加したスタッフの尽力、および快くスタッフを送り出していただいた各勤務先のご理解により、無事に成功を収めました。臨床検査技師の普及と地域住民の健康増進に寄与する有意義な事業となりました。

「ガン予防啓発事業」の一環として、安比高原スキー場を会場に行われた「あっぱりレーマラソン 2025」に昨年に引き続き参加しました。今回の参加で、あっぱりレーマラソンを利用して行い始めた公益事業がん予防啓発活動は 11 年目を迎え、次の段階への節目となる記念すべき年になりました。公益事業活動として「大腸がん予防啓発トイレットペーパー」の配布やビブスに載せた予防啓発メッセージを通して、広く県民に大腸がん予防啓発を行うことができたものと考えております。

■ ガン予防啓発事業：

【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぱりレーマラソン 2025「STOP!大腸がん」】

開催日：令和 7 年 9 月 14 日（日）

場 所：安比高原スキー場周辺

対 象：岩手県民

参加者：（一社）岩臨技会員 16 名。

活動内容：

公益事業活動の「ガン予防啓発事業」の一環として、あっぱりレーマラソンを利用し県民に対してがん予防啓発を実施しました。「大腸がん予防啓発トイレットペーパー」の配布や予防啓発メッセージを記載したビブスを着用して広く県民に大腸がん予防啓発を行いました。

■ 全国 検査と健康展（学生に対する臨床検査技師の普及事業も同時に実施）：

【検査と健康展 in やはぱーく】

開催日：令和 7 年 11 月 2 日（日）

場 所：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

担 当：岩臨技公益事業部、盛岡地区技師会

対象者：県民の方、臨床検査技師の仕事内容を知りたい方、学びたい方、
将来の職業として臨床検査技師に興味がある学生。

活動内容：

日臨技と岩臨技の主催の企画である「全国 検査と健康展」を開催しました。当日は約 200 名もの多くの県民に足を運んでいただきました。今年度は特に学生に対する臨床検査技師の普及事業を中心として開催しました。開催場所の「やはばーく」は学生たちが勉強できるスペースも併設しているため、そこに勉強しに来ていた学生たちに専門学校教員による中・高生向け個別相談、学費や資格取得までのフローの解説を行いました。また私たち臨床検査技師がやっていることについての説明を見ていただくことができました。

<書記・会報部> 書記・会報部長：藤倉 由規

1. 書記部門は、定期総会と理事会会議録を作成いたしました。
2. 会報部門は、発行目標は 6 回でしたが、352 号（5 月）、353 号（8 月）、354 号（10 月）、355 号（12 月）、356 号（2026.3 月）の 5 回作成し、Web での発行いたしました。会長、副会長はじめ、各理事の皆様、会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

2025 年度収支計算書

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	10,000	9,500	500	
入会金収入	10,000	9,500	500	500 円×19 名
② 会費収入	4,370,000	4,552,000	△ 182,000	
正会員会費収入	3,710,000	3,752,000	△ 42,000	7,000 円×536 名
賛助会員会費収入	660,000	800,000	△ 140,000	20,000 円×40 社
③ 事業収入	3,900,000	3,883,651	16,349	
事業収入	900,000	883,651	16,349	精度管理収入、県学会参加費、広告費
特別事業収入	3,000,000	3,000,000	0	事務局移転費用、70 周年記念事業予算
④ 補助金等収入	1,100,000	1,217,260	△ 117,260	
研修会費収入	0	0	0	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,217,260	△ 117,260	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	68,294	△ 67,794	
受取利息収入	500	21,594	△ 21,094	
雑収入	0	46,700	△ 46,700	精度管理郵送費負担分
事業活動収入計	9,380,500	9,730,705	△ 350,205	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	4,450,000	4,178,730	271,270	
ア 啓蒙活動支出	700,000	660,187	39,813	
給料手当支出	60,000	105,000	△ 45,000	スタッフ日当
報償費支出	60,000	116,910	△ 56,910	スタッフ弁当
旅費交通費支出	60,000	104,249	△ 44,249	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	0	10,000	発送費、切手代
消耗品費支出	400,000	260,669	139,331	ボールペン、マウスピース等

	印刷製本費支出	10,000	5,577	4,423	検査と健康展チラシ印刷
	賃借料支出	50,000	43,600	6,400	会場費
	諸謝金支出	0	10,000	△ 10,000	講師謝礼(1名)
	雑支出	50,000	14,182	35,818	安比リレーマラソンエントリー費,健康展備品
イ 学会活動支出		1,000,000	1,057,405	△ 57,405	
	給料手当支出	100,000	207,000	△ 107,000	
	報償費支出	100,000	252,150	△ 152,150	
	旅費交通費支出	100,000	145,480	△ 45,480	
	通信運搬費支出	100,000	131,480	△ 31,480	
	消耗品費支出	100,000	71,502	28,498	
	印刷製本費支出	100,000	7,472	92,528	
	賃借料支出	100,000	108,380	△ 8,380	
	諸謝金支出	100,000	103,000	△ 3,000	
	雑支出	50,000	30,941	19,059	
	委託費	150,000	0	150,000	
ウ 研修会活動支出		1,000,000	820,806	179,194	
	給料手当支出	220,000	200,600	19,400	スタッフ日当
	報償費支出	80,000	48,661	31,339	講師飲料代等
	旅費交通費支出	150,000	96,564	53,436	講師交通費、宿泊費
	通信運搬費支出	95,000	0	95,000	発送費、切手代
	消耗品費支出	30,000	63,424	△ 33,424	
	印刷製本費支出	10,000	0	10,000	資料作製費
	賃借料支出	110,000	84,310	25,690	会場費
	諸謝金支出	300,000	301,000	△ 1,000	講師謝礼
	雑支出	5,000	26,247	△ 21,247	
エ 会報事業支出		1,000,000	892,279	107,721	
	通信運搬費支出	0	0	0	発送費、切手代
	消耗品費支出	0	0	0	
	印刷製本費支出	600,000	542,050	57,950	70周年記念誌印刷費
	諸謝金出	400,000	350,000	50,000	編集員謝礼
	雑支出	0	229	△ 229	
オ 精度管理事業支出		750,000	748,053	1,947	
	通信運搬費支出	70,000	55,220	14,780	切手代等
	消耗品費支出	500,000	535,987	△ 35,987	試料費、器材費
	委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用費

諸謝金支出	50,000	40,000	10,000	
雑支出	20,000	6,846	13,154	手数料等

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
②管理費支出	4,930,500	4,380,527	549,973	
役員報酬支出	80,000	79,260	740	理事日当 (@1000 円)
給料手当支出	547,000	526,000	21,000	手当
報償費支出	100,000	155,740	△ 55,740	総会経費、監査経費
会議費支出	100,000	0	100,000	会場費
旅費交通費支出	323,000	271,532	51,468	理事会交通費、日臨技交通費
通信運搬費支出	600,000	176,064	423,936	電話、インターネット、
消耗品費支出	1,500,000	1,048,836	451,164	封筒、コピー用紙等、事務局消耗品
印刷製本費支出	100,000	40,577	59,423	コピー機使用料
賃借料支出	1,000,000	771,492	228,508	事務局家賃、コピー機リース、パソコンリース
水道光熱費支出	120,000	75,596	44,404	事務局光熱費
諸謝金支出	10,000	30,699	△ 20,699	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	300,000	1,073,964	△ 773,964	レンタルサーバー使用料、HP 保守料、サイボウズ Office
慶弔費	10,000	0	10,000	祝電
雑支出	68,500	58,767	9,733	広告費、振込手数料
事業活動支出計	9,380,500	8,559,257		
事業活動収支差額	0	1,171,448	△ 1,171,448	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		
投資活動支出計		0		
投資活動収支差額		0		
Ⅱ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入		0		
財務活動収入計		0		
2. 財務活動支出		0		
財務活動支出計		0		

財務活動収支差額		0	
Ⅱ 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	1,171,448	
前期繰越収支差額	0	11,917,723	
次期繰越収支差額	0	13,089,171	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、及び前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	264,789	103,558
普通預金	11,351,718	7,684,397
定期預金	0	2,000,000
県学会前渡金	0	0
北日本学会前渡金	0	0
合計	11,616,507	9,787,955
前受金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	11,616,507	9,787,955

財産目録

(2026 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	現金手許有高	103,558		
普通預金	岩手銀行県庁支店 No.121140	2,468,342		
	楽天銀行 NO 7284326	5,216,055		
定期預金	楽天銀行 NO 7284326	2,000,000		
県学会前渡金		0		
北日本学会前渡金		0		
流動資産合計			9,787,955	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計		0		
(2) 特定資産				
特定資産合計		0		
(3) その他固定資産				
産				
什器備品		133,628		
その他固定資産合計		133,628		
固定資産合計			133,628	
資産合計				9,921,583
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金				
流動負債合計			0	
負債合計				0
正 味 財 産				9,921,583

貸借対照表

(2026 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,787,955	11,616,507	△ 1,828,552
県学会前渡金	0	0	
北日本学会前渡金	0		
流動資産合計	9,787,955	11,616,507	△ 1,828,552
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	133,628	133,628	0
その他固定資産合計	133,628	133,628	0
固定資産合計	133,628	133,628	0
資産合計	9,921,583	11,750,135	△ 1,828,552
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	9,921,583	11,750,135	△ 1,828,552
正味財産合計	9,921,583	11,750,135	△ 1,828,552
負債及び正味財産合計	9,921,583	11,750,135	△ 1,828,552

承認第3号

令和7年度監査報告書

令和8年5月6日

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会 長 高 橋 一 博 様

監事 菊池 英岳

梶 久美

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定款第4章28条の規定により、令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の監査を令和8年5月6日事務局に於いて実施したので下記の通り報告する。

記

会務について

令和7年度事業計画に基づき、学術事業はWEB開催などを活用し円滑に遂行されていることを認める。また公益、渉外活動においても同様に活動が遂行されていることを認める。

財務について

令和7年度予算に基づき適切に運用されていた。また、諸帳簿、書類、領収書、収支伝票等は適切に処理され保管されていることを認める。

今年度より事務局の移転で、家賃、光熱費が発生しています。これにより管理費の支出が増加しますが、ほかの事業に影響を与えないように工夫して頂くことを期待します。

要望事項

- ・ 今後の医療を取り巻く環境は厳しい道のりですが、「新たな価値」を生み出し広く県民・国民に認識して頂ける技師会を望む。
- ・ 生涯教育研修制度を通じ、会員の知識や技術水準の維持向上に努めることを望む。

第 1 号議案

令和 8 年度日臨技の役員改選時期に合わせた岩臨技の役員改選が行われ、2 月 7 日の臨時総会で承認された役員等選任規程に沿って決定された新たなメンバーでスタートします。従来の活動計画の他、諸規程の整備、ホームページの見直し、災害対応の検討なども引き続き加わります。

今後の県学会については従来の地区技師会主催から地区再編に伴い、岩臨技理事と学術部で実行委員会を組織し行われる事になります。

いずれも時代の変化に対応した必要な事業です。引き続き岩臨技会員皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

また、各部門からの事業計画は以下に示します。

事業計画（案）

<総務部>

1. 連絡網について

現在、個人および施設代表者のメールアドレスの登録をお願いしているところではありますが、一部において未登録または変更がなされていないケースも見受けられます。今後も引き続き登録の促進に努めるとともに、会員の皆様へ必要な情報を確実に届けるため、岩臨技ホームページを活用し、研修会等のご案内を積極的に発信してまいります。

2. ホームページ等のデジタルツールの運用について

ホームページの SSL 化を開始しており、会員の皆様が安心・安全に閲覧でき、かつ視認性に優れたホームページとなるよう検討・改善を進めてまいります。研修会等の情報発信をはじめとした、有用なコンテンツの充実を図ります。また、サイボウズについては、理事・地区会長・部門長等をメンバーとして引き続き活用し、連絡・情報共有ツールとしての有効性を高めてまいります。研修会の申込については、QR CODE を利用した形式の導入など、各種デジタルツールを活用し、参加者がより簡便かつ円滑に申込できる環境の整備を進めております。あわせて、近年の AI 化やデジタル技術の進展を踏まえ、利便性の高い申込方法の導入についても検討を重ねてまいります。岩臨技で契約中の Zoom ミーティングを活用し、各種会議や研修会の開催において有効に運用いたしておりますが、今後の更なる効率化を目指し、新たな情報共有ツールの導入についても模索・検討を進めてまいります。

3. 会員の親睦について

感染症の動向を注視しながら、会員の皆様のご要望に応えられるような親睦企画を立案・実施してまいります。安全と交流の両立を図りながら、会員間のつながりを深める機会の創出に努めてまいります。

4. 事務局の移転について

2025 年 7 月に事務局の移転が完了いたしました。今後は新しい事務所を拠点として、業務体制の強化を図り、より効率的かつ円滑な運営に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

5. 地区再編等変更について

5 地区制に関する見直しおよび組織体制や学術部門の再構築、またそれに伴う定款や諸規程の変更については、繰り返し議論を重ね、令和 8 年 2 月 7 日に開催された臨時総会にて採択されました。2026（令和 8）年度より本格的に始動してまいりますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

6. 災害対策について

令和 7 年 9 月に実施された内閣府主催の災害訓練に参加した経験を活かし、災害発生時における初動

対応の確認や、役割分担・連絡体制の明確化など、災害対策マニュアルの策定・整備を進めてまいります。また、地域社会への貢献の一環として、岩手県との災害協定締結に向けた検討・調整を進めるとともに、災害対策の充実に努めてまいります。

<学術部>

1. 組織改革

令和8年度は役員改選により、担当理事、部門長、副部門長が大幅に入れ替わります。新体制による組織改革を進めながら、学術部の体制を整備してまいります。また、会員の皆さまにとって有益な学術活動を目指し、県全体のレベルアップを図ってまいります。

2. 岩手県学会の開催

令和8・9年度の県学会は、理事および学術部が主催で企画・運営を行ってまいります。大幅な組織改革により、令和8年度の開催は厳しい状況ではありますが、令和9年度開催に向けて、多くの会員に参加していただけるような学会を目指し、企画を進めてまいります。

3. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

令和8年度からは、支部単位での開催となります。ホームページや日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、早めの基礎講習および実技講習の受講を促してまいります。

4. 臨地実習指導者講習会

引き続きホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、受講を促してまいります。

5. 岩臨技精度管理調査の実施

例年通り12月上旬に実施、報告会は2月開催を予定しております。実施内容については一部変更となる可能性があります。すでにお知らせしているように、試料の価格高騰により参加費の増額を予定しております。

6. 学術部主催研修会の開催

令和8年度も学術部主導で研修会を開催するほか、賛助会員によるセミナーの開催も推進いたします。Peatixでの申込や、新人向け研修会、精度管理調査報告会でのアーカイブ配信は、試験運用として継続いたします。各部門の研修会では、実技研修を含む企画を行い、日臨技や支部主催の研修会との差別化を図ります。また、次世代の学術部を担う人材の育成も視野に入れ、研修会を講師育成の場として活用してまいります。研修会の年間計画や開催案内はホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し、会員に周知してまいります。

<公益事業部>

公益目的事業活動として、「ガン予防啓発事業」、「全国 検査と健康展」、「学生に対する臨床検査技師の普及事業」の3事業を推進してまいります。県民の皆さまに臨床検査技師の役割を広く周知するとともに、岩臨技の会員一人ひとりが、心身ともに健康に活動できる取り組みを吟味し、より適切な形での開催を実施してまいります。

<ガン予防啓発事業>

【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぴりレーマラソン 2026「STOP!大腸がん」(仮)】

開催日：令和8年9月 (例年は第2週目の日曜日)

場 所：安比高原スキー場

参加予定岩臨技会員人数：20名

活動内容：本年度も岩臨技会員による有志チームを結成し、会員相互の親睦を深めるとともに、本企画を通じて「STOP!大腸がん」をスローガンに掲げたがん予防啓発活動を展開してまいります。専門職としての知見を活かし、岩手県民に対して早期発見・早期治療の重要性を広く周知し、県内の健康増進に寄与してまいります。

<全国 検査と健康展>・<学生に対する臨床検査技師の普及事業>

【検査と健康展 in 矢巾・盛岡周辺地域】

開催日：令和8年11月

場 所：矢巾町活動交流センター やはばーく (紫波郡矢巾町) (仮)

一般参加見込み数：150 名

参加予定スタッフ数：約 15 名（内訳：岩臨技理事 5 名程度、岩臨技会員 10 名程度）

活動内容：地域住民の方々に「臨床検査技師」の役割を広く周知すること、および「予防医学」への関心を高めていただくことを主眼に置き、以下の 3 点を重点方針として実施してまいります。

- 次世代とのふれあい：子供たちが検査技術に親しみを持てる体験型企画の充実を図ってまいります。
- 健康意識の向上：予防医学の観点から、日常の健康維持に役立つ情報を提供してまいります。
- キャリア支援：養成校教員との連携による、具体的かつ実践的な進路相談の実施してまいります。

<書記・会報部>

1. 定期総会および理事会の議事録作成してまいります。
2. 会報については、今年度も 5・7・9・11・1・3 月に発行してまいります（6 回）。
会報については、日臨技及び岩臨技からのお知らせ、学会・研修会の案内と参加報告等を Web 上にて掲載してまいります。

第2号議案

2026 年度収支予算(案)

(2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	10,000	10,000	0	
入会金収入	10,000	10,000	0	500 円×20 名
② 会費収入	4,377,000	4,370,000	7,000	
正会員会費収入	3,577,000	3,710,000	△ 133,000	7,000 円×511 名
賛助会員会費収入	800,000	660,000	140,000	20,000 円×40 社
③ 事業収入	1,500,000	3,900,000	△ 2,400,000	
事業収入	1,500,000	900,000	600,000	精度管理事業参加費、県学会参加費、研修会参加費、広告費
特別事業収入	0	3,000,000	△ 3,000,000	事務局移転費用
④ 補助金等収入	1,100,000	1,100,000	0	
研修会費収入	0	0	0	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,100,000	0	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	500	0	
受取利息収入	500	500	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	6,987,500	9,380,500	△ 2,393,000	

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	3,470,000	4,450,000	△ 980,000	
ア 啓蒙活動支出	700,000	700,000	0	
給与手当支出	100,000	60,000	40,000	手当
報償費支出	100,000	60,000	40,000	スタッフ弁当
旅費交通費支出	100,000	60,000	40,000	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	発送費、切手代
消耗品費支出	300,000	400,000	△ 100,000	ボールペン、マウスピース等
印刷製本費支出	10,000	10,000	0	検査と健康展チラシ印刷
賃借料支出	50,000	50,000	0	会場費
諸謝金支出	0	0	0	医師謝礼(2名)
雑支出	30,000	50,000	△ 20,000	安比リレーマラソンエントリー費 健康展備品
イ 学会活動支出	700,000	1,000,000	△ 300,000	
給与手当支出	100,000	100,000	0	
報償費支出	100,000	100,000	0	
旅費交通費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
通信運搬費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
消耗品費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
印刷製本費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
賃借料支出	100,000	100,000	0	
諸謝金支出	100,000	100,000	0	
雑支出	50,000	50,000	0	
委託費	50,000	150,000	△ 100,000	学会HP委託費
ウ 研修会活動支出	1,070,000	1,000,000	70,000	
給与手当支出	400,000	220,000	180,000	手当
報償費支出	80,000	80,000	0	講師飲料代等
旅費交通費支出	100,000	150,000	△ 50,000	講師交通費、宿泊費
通信運搬費支出	0	95,000	△ 95,000	発送費、切手代
消耗品費支出	60,000	30,000	30,000	
印刷製本費支出	0	10,000	△ 10,000	資料作製費
賃借料支出	100,000	110,000	△ 10,000	会場費
諸謝金支出	300,000	300,000	0	講師謝礼
雑支出	30,000	5,000	25,000	
エ 会報事業支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	

通信運搬費支出	0	0	0	発送費、切手代
消耗品費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	0	600,000	△ 600,000	印刷費、70 周年記念誌 予算
諸謝金出	0	400,000	△ 400,000	
雑支出	0	0	0	
オ 精度管理事業支出	1,000,000	750,000	250,000	
通信運搬費支出	70,000	70,000	0	切手代等
消耗品費支出	750,000	500,000	250,000	試料費、器材費
委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用費
諸謝金出	50,000	50,000	0	
雑支出	20,000	20,000	0	手数料等

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
②管理費支出	3,517,500	4,930,500	△ 1,413,000	
役員報酬支出	80,000	80,000	0	理事日当 (@1000 円)
給料手当支出	342,000	547,000	△ 205,000	手当
報償費支出	100,000	100,000	0	総会経費、監査経費
会議費支出	20,000	100,000	△ 80,000	会場費
旅費交通費支出	300,000	323,000	△ 23,000	理事会交通費、日臨技 交通費
通信運搬費支出	200,000	600,000	△ 400,000	電話、インターネット
消耗品費支出	50,000	1,500,000	△ 1,450,000	封筒、コピー用紙等
印刷製本費支出	50,000	100,000	△ 50,000	コピー機使用料
賃借料支出	1,000,000	1,000,000	0	事務局家賃、コピー機リ ース、パソコンリース
水道光熱費支出	120,000	120,000	0	事務局光熱費
諸謝金支出	10,000	10,000	0	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	1,100,000	300,000	800,000	レンタルサーバー使用 料、HP 保守料、サイボウ ズ Office,CANVA
慶弔費	10,000	10,000	0	祝電
雑支出	63,500	68,500	△ 5,000	広告費、振込手数料
事業活動支出計	6,987,500	9,380,500	△ 2,393,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
Ⅱ 投資活動収支の部				

1. 投資活動収入		0	
投資活動収入計		0	
2. 投資活動支出		0	
投資活動支出計		0	
投資活動収支差額		0	
Ⅱ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入		0	
財務活動収入計		0	
2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
Ⅱ 予備費収支の部			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額			
次期繰越収支差額	0	0	

第3号議案

理事及び監事の辞任に伴う後任者選任について

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会新役員 案 (任期 令和8年5月23日から2年間)

理	事	千 葉 寛	盛岡市立病院
理	事	小野寺 奈 緒	盛岡おおら脳神経内科クリニック
理	事	川 村 将 史	いわてリハビリテーションセンター
理	事	塩 越 真由美	岩手県立中央病院
理	事	矢 野 裕 美	盛岡赤十字病院
理	事	菅 原 江 介	岩手県立二戸病院
理	事	伊 藤 愛 美	八幡平市立病院
理	事	浅 沼 匡 介	岩手県立中央病院
理	事	佐々木 貴美子	岩手県立中部病院
理	事	佐々木 海	岩手医科大学附属病院
理	事	吉 田 彩	岩手県立江刺病院
理	事	武 藤 加奈子	奥州市総合水沢病院
理	事	曾 田 嘉 一	岩手県立遠野病院
理	事	見 方 結 衣	総合花巻病院
理	事	後 沢 いづみ	奥州病院
監	事	高 橋 一 博	岩手県立磐井病院
監	事	佐々木 まゆみ	岩手県立千厩病院
事務局員		下 川 波 歩	岩手医科大学附属病院
会計員		千 枝 貴 幸	岩手医科大学附属病院
会計員		菊 地 美 葵	岩手県立胆沢病院

第4号議案

令和8年5月7日理事会にて審議された諸規程変更（案）について

- 会計事務取扱規程（一部改正）
- 会員および会費に関する規程（制定）
- 会費減免規程（制定）
- 学術部運営規程（制定）
- 学術部支出規程・別紙 学術部支出一覧（制定）

変更あるいは再整備される諸規程には従来の定款細則の内容も含まれています。
これにより、従来の定款細則は廃止されます。